

第22回全国雪崩事故を防ぐための講習会

実施要綱

講習期間： 2008年2月8日(金)～11日(月)
2月8日は講師・役員・講師養成クラスを含む講師研修会
2月9日(土)午前9時より講習開始

理論講座： 通信教育(事前学習) 2007年11月より開始

会場： 長野県・中央アルプス・千畳敷カール

参加費用： 46,000円
(2泊3日の宿泊、朝食・夕食各2回、現地交通費、教材費等の費用を含む)
講師養成クラスはプラス一泊分の実費)
郵便振込 口座番号 00160-1-152812
" 口座名 日本勤労者山岳連盟・中央登山学校

募集人数： 58名 定員になり次第締め切ります。
ただし、各クラス毎に人数制限があります。

集合時間： 2月9日(土)午前7時30分 午前8時のバスで出発します。

集合場所： 以下の図のとおり中央観光本社前の駐車場となります。



主催： 日本勤労者山岳連盟・中央登山学校雪崩講習会

募集する講習クラス

基本クラス 16名 初めて受講する者または地方講習会受講修了者。

中級クラス 16名 基本クラス修了者及び同等の力の有る者。
講師の推薦を受けた者。

上級クラス 12名 中級クラス修了者及び同等の力の有る者。
講師の推薦を受けた者。

アルパインコース(技術経験を問う。)

雪山(縦走)コース

雪山ハイクコース

セルフ・レスキュー専科 8名 受講経験を問わない。

講師養成クラス 6名 但し一般募集しない。

持ち物： 冬山個人装備一式。スコップは必ず持参の事。筆記用具を忘れないこと。
観察用具。その他、必要とする装備については別途連絡します。

教材： 雪崩講習会テキスト 事前学習の課題 ほか

宿泊場所： 中央アルプス観光 ホテル千畳敷 TEL 0265-83-5201

なお、申込み後のキャンセルについては、受講準備が進行しているので、参加費用の内、一部を返還いたします。返還できる金額は以下のとおりとします。

年末までのキャンセル 40,000円(振込料差引)の返還

1月末日までのキャンセル 25,000円(振込料差引)の返還

2月に入ってからキャンセル 全額返還出来ません。

申込・問い合わせ先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

日本勤労者山岳連盟 事務局

TEL 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

フリーダイヤル 0120-44-2742

E-mail jwaf@jwaf.jp

講習会に関する不明な点の問い合わせも、上記連絡先まで、お尋ねください。

問い合わせ時間 平日 10:00~18:00

雪崩講習会の受講を成果あるものに

この講習会では雪崩に関して、実技観察体験の講習会までに必要な基本的な内容を通信教育で学習します。雪崩に関する学習は事前学習することにより、また各地方での机上学習に参加するなどして、皆さんがふだん疑問に思うことや確かめたいことを事前に学習整理して、雪崩に関する最新の知識を学び取って現地講習会に臨むことで、より多くの成果を得ています。

事前学習の「課題」提出は、来年の1月15日までとしますが、申し込み後に自分で学習計画を立てて「課題」レポートを各クラスの主任講師まで提出しましょう。

各クラスとも事前に「課題」の提出がないと来年の講習会に参加できません。

本科の受講と専科の受講資格

雪崩に関する基本的な知識と現場での判断能力を付けることを目的とした本科は、基本クラスから上級クラスまで設けてあります。

基本クラスは雪崩と雪に関しての体験学習として広く浅く、全体を見られるような内容としています。今までの知識と行動を見直したり、新しい体験の中で誤りや方向を見つけるための第一段階となります。このクラスの受講に関しては登山の経験と技術の程度は問いません。

中級クラスは雪崩の発生のメカニズムを理論的に理解するため、雪質の区別、弱層の出来方など「雪」をテーマにした理論および観察がほとんどになります。ここでも登山の経験と技術の程度は問いません。

しかし、将来上級クラスを目指そうとするなら自分の志向する登山内容、つまり経験と技術、そしてリーダー経験が問われますから、この間に準備をしなければなりません。

上級クラスは、学習した体験と知識から実際のルートに出て、雪崩の危険判断と行動の適否を実践的に試みます。ここからはアルパイン(ロープを使用する)と雪山登山・縦走、ハイキングと志向別に分けられます。

この場合、リーダーとしての指示や危険を回避するために適切な指導ができるかどうかも問われます。なぜなら、リーダーの判断と行動の指示が適切であったら事故の回避ができたと見られる事例がいくつもあるからです。

これとは別に山スキーを志向する人たちにクラスも設けています。

セルフ・レスキュー専科は雪崩本科の受講終了を条件とせずに受講できます。本来、事故現場での初動捜索がなせるのは、二次発生の雪崩の危険が少ないか、無いと判断されることが前提となります。これこそ雪崩の本科で学習体験する内容ですが、一定のレベルに達するには3年位の学習と訓練が必要です。

しかし、現場でレスキュー活動に関わる人たちの学習と訓練の必要性は差し迫っており、また本科においてレスキュー活動を組み入れることは時間の関係から無理であるため、本科の受講と関わり無く専科として開校しました。

将来、初動捜索の指揮を取る人たちは、総合的な雪崩学習と訓練を受けなければ適切ですみやかな活動を展開できません。

ぜひ、本科の学習とレスキューの両面からのレベルアップをはかるよう心がけてください。